

# (一社)AAMT 第 2 回定時社員総会

日 時 2021 年 6 月 23 日 13:00～13:50

会 場 オンライン開催

議 事

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 出席会員の確認
4. 議案
  - 第 1 号議案 2020 年度事業報告
  - 第 2 号議案 2020 年度決算報告
  - 第 3 号議案 理事人事 (案)
  - 第 4 号議案 2021 年度事業計画 (案)
  - 第 5 号議案 2021 年度収支予算 (案)
  - その他・会員提案事項
5. 閉会の辞

2021 年 6 月 23 日

一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会

## 2020年度事業報告

2021年4月1日

一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会

会長 隅田 英一郎

2019年度から準備してきた一般社団法人化は2020年4月1日に新団体、すなわち、一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会の設立登記を完了した。さらに、2020年8月24日に旧団体の2020年度第30回通常総会での旧団体解散を受け、任意団体から一般社団法人に完全に移行しました。

ニューラル機械翻訳(NMT)の急速な進化に伴う各界からの機械翻訳への期待の高まりを受けて、コロナ禍の中NMTの最新動向を発信するイベントをリモートで実施した。

個々の活動については、以下に具体的に述べる。

### 1 年次大会委員会

昨年度は、新型コロナ感染拡大防止の観点から、オンライン形式の年次大会 AAMT 2020, Online を12月に開催した。オンラインという場所を選ばない形でのイベントであったため、2019年の参加者160名を大きく超え、256名の聴講者が参加した。また、Zoomのブレイクアウトセッションを活用したオンラインの交流会も実施した。

### 2 AAMT/Japio 特許翻訳研究会

本研究会は、一般財団法人日本特許情報機構(Japio)からの委託を受け、特許の機械翻訳の技術的な課題を把握し、次世代の特許翻訳のビジョンを明確にすることを目標に引き続き活動を行っている。

2020年度も特許機械翻訳への応用に向けてニューラルネットワークに基づく機械翻訳や機械翻訳評価の研究に取り組むとともに、特許翻訳の評価用データセットの拡充を行った。さらに、特許翻訳に関係する現在の機械翻訳技術の動向についての調査と、それを通じた今後の研究会の研究開発方向性の検討を目的として、サーベイ論文の執筆を計画し、研究会委員で分担して作業を進めた。さらに、国内の関連業界との接点として定期的に行っている特許情報シンポジウムを2021年2月26日にオンラインで開催し、招待講演とパネル討論を行った。これらの活動内容は2021年3月に報告書にまとめ、研究会 Web サイトにて公開した。

### 3 AAMT ジャーナル編集委員会

年2号の発行号数を目標としてAAMT ジャーナル「機械翻訳」の記事を企画・編集し、電子ジャーナルとして発行する。ジャーナル記事の著作権としては Creative Commons Attribution ShareAlike 4.0 を基本とすることにより、投稿された記事が自由に流通することにより、著者とAAMTの利益が最大化することを目指す。また、「法人会員PR」として、機械翻訳に関して、法人会員からPR記事を受け付ける。

### 4 広報委員会

#### 1) ウェブサイト

広報を本協会における重要な情報発信手段と位置付け、更新を迅速に行い、さらには、会員ページを作成し、AAMT ジャーナルの早期公開を行い、会員特典の価値を高めることができた。

#### 2) SNS

Twitter、Facebookでの発信を続け、速報性という特徴を生かして、(特に協会非会員に向けて)協会のイベント案内などの情報提供や会員・一般との丁寧なコミュニケーションの手段として利用した。さらに、SNS広告を行い、広くAAMTのイベントを周知した。

#### 3) その他広報活動

一昨年同様にCovid-19の影響により、リアルイベントが開催されなかったため、リーフレットなどの配布を行うことができなかったが、関連イベントでの後援を通じて、AAMTの存在を広報した。

### 5 長尾賞委員会

2020年度は、第15回AAMT長尾賞、第7回AAMT長尾賞学生奨励賞の宣伝、募集、選考の活動を行った。AAMTメーリングリストおよび言語処理学会メーリングリスト、JTFメーリングリストに推薦の案内を配信し、AAMT長尾賞には5件の推薦(候補者5件)、AAMT長尾賞学生奨励賞には2件の推薦(候補者2件)があった。5名の選考委員から成る長尾賞選考委員会を設置し、2件のAAMT長尾賞を選定した。AAMT長尾賞学生奨励賞については、5名の選考委員から成る長尾賞学生奨励賞選考委員会を設置し、2件のAAMT長尾賞学生奨励賞を選定した。2020年度は新型コロナウイルス感染状況の影響のため、AAMT総会に伴って行われてきた授賞式を取りやめ、賞状および授与品の郵送をもって代えることになった。受賞の発表はAAMT総会に伴って8月24日に行い、12月2日に開催されたAAMT年次大会において受賞者による講演会を実施した。

## 6 国際化対応

2014 年以降継続的に開催されているアジア翻訳ワークショップ (Workshop on Asian Translation; WAT) を、AAMT 国際化を目指して AAMT の国際会議の母体としていくことを検討しており、このために WAT2018, 2019 に引き続き、WAT2020 をスポンサーとして支援した。

WAT2020 の概要を簡単に報告する。WAT2020 は ACL-IJCNLP2020 の併設ワークショップとして 2020 年 12 月 4 日にオンラインで開催された。招待講演は行われず、機械翻訳評価に参加した各チームによる翻訳システムの説明のほか、機械翻訳やアジア言語処理に関する一般研究論文発表が行われた。会議の参加者は入れ替わり立ち替わり、常時 20 名程度が入っているという状況であった。

WAT2020 では新たに以下の翻訳タスクが追加された。

- 7 つのインド諸語 <=> 英語翻訳
- オリヤー語 <=> 英語翻訳
- ヒンディー/タイ/マレー/インドネシア語 <=> 英語 IT & Wikinews 翻訳
- 日本語 <=> 英語 マルチモーダル翻訳
- 日本語 <=> 英語 ビジネス対話翻訳

また WAT2020 での新たな試みとして、科学技術論文翻訳及びビジネス対話翻訳において、文書単位での翻訳タスクを設定した。これは 1 文を超えた文脈情報も考慮することで、全体としてより適切な翻訳を出力することを目的としたものである。科学技術論文の文書単位データとして ParaNatCom ([https:// www2.nict.go.jp/astrec-att/member/mutiyama/paranatcom/](https://www2.nict.go.jp/astrec-att/member/mutiyama/paranatcom/)) を利用したが、開発データ及びテストデータのみ提供であったためか、残念ながら今回参加者はいなかった。ビジネス対話の文書単位データとしては BSD コーパス (<https://github.com/tsuruoka-lab/BSD>) を利用し、4 チームの参加があった。全体としては国内から 4 チーム、海外から 10 チームの参加があった。海外で最も参加が多かった国はインドの 5 チームで、これはインド諸語を対象としたタスクが増えたためと思われる。他には中国、シンガポール、スイス、アイルランドからの参加があった。また一般研究論文の募集も行い、12 件の投稿のうち 7 件を採択 (うち 1 件は後日、著者により取り下げ) した。

以上

御参考

協会活動報告  
(2020年4月～2021年3月)

予算理事会

- 2021年3月12日

第30回通常総会

- 2020年8月24日

通常理事会

- 2020年5月8日 (2019年度 第6回)
- 2020年7月9日 (2019年度 第7回)
- 2020年8月24日 (2020年度 第1回)
- 2020年9月29日 (2020年度 第2回)
- 2020年12月16日 (2020年度 第3回)
- 2021年3月12日 (2020年度 第4回)

AAMT/Japio 特許翻訳研究会

- 2020年6月19日 (2020年度 第1回) 【オンライン開催】
  - 研究会の年度活動方針およびスケジュールの確認
  - サーベイ論文の対象分野および担当者の決定
  - 特許情報シンポジウムの開催方針についての議論
- 2020年8月21日 (2020年度 第2回) 【オンライン開催】
  - 特許情報シンポジウムの開催大綱決定
  - サーベイ論文向けの論文調査進捗状況の確認
  - 2020年度研究活動計画の発表
- 2020年10月30日 (2020年度 第3回) 【オンライン開催】
  - 特許情報シンポジウムのプログラム編成についての議論
  - サーベイ論文の進捗状況確認、途中経過報告 (2課題)

■ 2020年12月17日(2020年度 第4回)【オンライン開催】

- 特許情報シンポジウムのプログラム確認
- サーベイ論文の進捗状況確認、途中経過報告(3課題)

■ 2021年2月24日(2020年度 第5回)【オンライン開催】

- サーベイ論文の進捗状況確認、途中経過報告(2課題)
- PSLTワークショップの企画提案について
- 年度報告書の執筆についての最終確認

■ 2021年2月26日【オンライン開催】

第6回特許情報シンポジウム

## 編集委員会

- 編集委員会をオンラインで実施することにより、迅速な編集作業を実現した。
- AAMT ジャーナル「機械翻訳」の電子ジャーナル化を実現した。
- No.73(2020年12月発行)を発行した。
- No.74(2021年6月発行)を発行予定

## 広報委員会

- 2020年4月度
  1. 会員用ページを作成し、AAMTジャーナルを早期公開した。
- 2020年5月度
  1. AAMTジャーナルのPDFを一般公開した。
  2. 総会・長尾賞についての告知を行った。
- 2020年8月度
  1. 法人会員ページの改修を行った。
  2. 総会についてのページを作成した。総会に寄せられた質問事項に関する回答を記載した。
  3. 法人化にあたり、団体名称・定款を差し替えた。
  4. 理事の増員に対応して組織を修正した。
- 2020年9月度
  1. 沿革のページを修正した。
  2. 長尾賞のページを作成した。

- 2020年10月度
  3. 沿革のページを修正した。
  4. 長尾賞のページを作成した。
  5. AAMT ジャーナルの会員先行頁を作成した。
  6. AAMT 紹介動画を作成した。
- 2020年11月度
  1. 年次大会の募集ページを作成し、年次大会の広告を通じて集客活動をおこなった。また、関連団体への広報を行った。
  2. サイトのメニューを改善した。
  3. JTF 翻訳祭にて、広報動画を作成し、アピールした。また関連セッションをおこなった。
  4. PowerPoint 用のテンプレートと ZOOM 用背景を作成した。
- 2020年12月度
  1. AAMT ジャーナルのPDF版を公開した。
- 2021年2月度
  1. 来期のサイト上の改修にあたり検討をおこなった。
- 2021年3月度
  1. 通常総会招待講演に関するサイトを公開し、Peatix の申し込みサイトを公開した。
  2. 30周年記念ロゴを作成し、WEB サイトや SNS 上に設置した。
- 2021年4月度
  1. JTF ジャーナルに長尾賞に関する広告を掲載した。
  2. 長尾賞募集に関するページを公開した。
  3. 30周年に関する告知をおこなった。

## イベント委員会

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、リモートワークを推進した結果、イベント委員会の活動もメールや Zoom を活用して実施した。

- 2020年7月31日（2020年度 第1回）
  1. 年次大会の企画運営について
  2. 年次総会と併催の MT フェアの企画運営について
  3. イベント担当内役割分担等の検討
  4. 登壇者候補の選定

■ 2020年8月31日（2020年度 第2回）

1. 展示について
2. 登壇者の確定
3. オンライン交流会の実施について
4. 今後の進め方について

■ 2020年11月25日（2020年度 第3回）

AAMT 2020, Online リハーサル

**AAMT 2020, Online ～機械翻訳最前線～**

■ 2020年12月2日

1. 10:00- 10:10 開会挨拶
2. 10:10～11:10 長尾賞受賞者紹介および受賞者講演
3. 11:30～15:20 招待講演
4. 15:40～17:10 パネルディスカッション
5. 17:10～17:30 閉会挨拶
6. 17:30～18:30 オンライン交流会

形態： Zoom によるオンライン開催

上記日程にて「AAMT 2020, Online ～機械翻訳最前線～」と、オンライン交流会を開催した。午前中は、総会時に実施できなかった長尾賞受賞者の紹介と、受賞者講演を実施した。当協会の今後の検討テーマとなっているポストエディットに焦点をあて、教育の観点から川口仁氏（インタースクール）にご講演いただいた。次に、須藤克仁氏（奈良先端科学技術大学院大学）に AAMT/Japio の活動を共有いただいた。休憩を挟み、翻訳支援ツールと機械翻訳ツールの関係性について佐藤弦氏（SDL ジャパン株式会社）江上聡氏（シストランジャパン合同会社）に講演いただいた。

最後に当協会副会長安達久博のモデレートで『ポストエディットのこれからを考える』と題してパネルディスカッションを実施した。パネリストとして、以下の方々にご登壇をいただいた。

山田優氏/関西大学

中山雄貴氏/株式会社ヒューマンサイエンス

成田崇宏氏/株式会社ホンヤク社

恒川正志氏/個人翻訳者



パネルディスカッションが終了した後に実施したオンライン交流会では、Zoom のブレイクアウトセッションを活用し、参加者との情報交換を行った。初めての実施形態であったこともあり、反省点はいくつか出たが、新型コロナの影響もあり、対面で懇親会が難しい中、少なくとも交流の場を設けることができた事は前向きに受け止めたい。

今大会では商品紹介をできる会場を設けることができなかつたため、オンラインで動画を配信するサイトを併設し、最新の技術・サービスの情報提供などが行われた。

講演会参加者：256 名

#### ■ 第 15 回 AAMT 長尾賞受賞式・記念講演会

- **受賞者 1:** コニカミノルタ株式会社 BIC Japan

- **受賞理由:**

コニカミノルタ株式会社は医療現場の言葉の壁の解消のために、人間の通訳と機械の通訳を併用したタブレットの医療用音声翻訳アプリ「MELON」を 2016 年に開発し、それぞれの利点を生かした複合的なサービスを病院向けに事業化した。また、逆翻訳機能やログデータの可視化サービスなどの付加価値を提供し、病院の外国人患者受け入れに貢献している。医療現場をヒアリングし医療現場のニーズに沿った工夫があることが評価されて、500 床以上の救急病院（例 筑波大学附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、慶應義塾大学病院、東京慈恵会医科大学附属病院）や厚労省管轄の検疫所などに広く普及している。機械翻訳システムの実用化の促進および開発に貢献したという点でまさに長尾賞にふさわしい。

- **受賞者 2:** 東芝デジタルソリューションズ株式会社

- **受賞理由:**

東芝デジタルソリューションズ株式会社の開発した特許庁の審査業務のための日英機械翻訳システムが 2019 年 5 月に稼働開始となり、2020 年 5 月には中国特許公報および韓国特許公報にも対応するようになった。NMT エンジン为核心に特徴の異なる複数のエンジンと同社の自然言語処理技術と最新のクラウド技術を組み合わせることで、多様な特許関連文書に対する、高精度かつ高速な応答を可能とする機械翻訳を実現した。近年性能向上の著しい NMT だけでなく、文書の部分によっては、より適切に翻訳できる RBMT と SMT を使うなど技術的な工夫にも優れている。特許戦略のグローバル化に伴い、特許文献を翻訳する頻度・件数は急増しており、経済的インパクトの大きな特許分野での独自方式の機械翻訳システムの実用化はまさに長尾賞にふさわしい業績と言える。

■ 第7回 AAMT 長尾賞学生奨励賞

- **受賞者 1:** 筑波大学大学院システム情報工学研究科知能機能システム専攻 龍梓さん  
(現) 深圳技術大学

- **受賞対象論文:**

「フレーズ・トークン込み NMT モデル及び SMT による大語彙フレーズ翻訳によるハイブリッド翻訳方式」, 龍梓・木村龍一郎・飯田頌平・宇津呂武仁・三橋朋晴・山本幹雄, 電子情報通信学会論文誌, Vol.J102-D, No.3 (2019 年 3 月), pp.104-117 (学生論文特集秀逸論文)

- **受賞理由:**

ニューラル機械翻訳(NMT)は従来の統計機械翻訳(SMT)に比べ非常に高い翻訳精度を実現するが、大規模語彙を扱うことが難しく、語彙制限による未知語問題が知られている。未知語問題を解決する従来手法は存在するが、いずれも単語や部分単語に対する未知語処理であり、複合語を含むフレーズには対応してこなかった。本論文は、NMT における未知語の問題に対して、SMT のフレーズ間対応を用いることでフレーズ対応の未知語処理を行う手法を提案したものである。特許翻訳を対象とした実験において、従来の未知語処理手法よりも高い翻訳精度を実現し、さらに訳抜けを約 30%低減できることを報告しており、実用性・有用性の高い手法であると考えられる。以上の理由から、長尾賞学生奨励賞にふさわしい研究内容と判断した。

- **受賞者 2:** 東京大学大学院情報理工学系研究科創造情報学専攻 Raphael Shu (朱中元)さん

- **受賞対象論文:**

東京大学 中山英樹准教授の指導のもとに、2019 年度東京大学の博士論文としてまとめられたものである。

「Structure-Aware Latent-Variable Models for Neural Machine Translation」

- **受賞理由:**

本論文は、連続的な潜在変数を用いた変分オートエンコーダに基づく非自己回帰的機械翻訳、離散的な量子化に深層学習を用いた単語分散表現の圧縮、構文・意味的な特徴の離散的な符号化に基づく多様な訳文生成という 3 つの研究内容について「構造を考慮する潜在変数モデル」を主題としてまとめた博士論文である。それぞれの研究は、ニューラル機械翻訳の高速化、軽量化、文体制御に関する独創的かつ有用性の高い手法を提案しており、これまでに自然言語処理および人工知能分野の難関国際会議に採択されて学術的に高い評価を得るとともに、今後の実用的な発展が大いに期待できる。以上の理由から、長尾賞学生奨励賞にふさわしい研究内容と判断した。

**2020年度末（2021年3月31日）現在の会員数：**

法人会員：59 法人(2019年 44 法人、入会 18 法人、退会 3 法人)

個人会員：99 名(2019年 79 名、入会 36 名、退会 16 名)

以上

## 2020年度決算報告

一般会計

## (1)収支計算書

自：2020年4月1日

至：2021年3月31日

(単位：円)

科目	予算額	決算額	備考
収入の部			
1. 入会金収入	115,000	65,000	入会 法人18社、個人36名(入会金免除有)
2. 会費収入	5,205,000	5,300,000	法人97口、個人88名(うち学生会員10名)
3. イベント収入	1,595,000	117,000	AAMT オンライン非会員参加費
4. 協賛金収入	200,000	220,000	イベント協賛金収入
5. 受託収入	5,600,000	4,310,933	AAMT/Japio 研究会受託収入
6. 雑収入	0	3,176	受取利息
7. 受取寄付金	0	25,199,469	任意団体より継承、長尾先生
当期収入合計(A)	12,715,000	35,215,578	
任意団体受入額	25,725,254		
収入合計(B)	38,440,254	35,215,578	
支出の部			
1. 会議活動費	124,2000	24,200	総会会場費キャンセル料
2. 広報費	800,000	899,800	HP管理費、団体紹介動画作成費
3. 事務局管理費	2,455,000	1,495,413	事務委託費、事務局経費
4. 他団体交流費	1,050,000	720,000	JTF、言語処理学会の会費、スポンサー費
5. イベント費	1,560,000	422,217	長尾賞記念品、AAMT オンライン開催経費
6. 編集委員会費	250,000	124,443	ジャーナル制作費(印刷、デザイン)
7. 研究会費	5,250,000	4,829,083	AAMT/Japio 研究会受託経費
8. 予備費	1,500,000	10,000	収入印紙
9. 福利厚生費	100,000	0	
当期支出合計(C)	12,989,200	8,525,156	
当期収支差額(A)-(C)	▲274,200	26,690,422	
法人税住民税及び事業税(D)		80,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)-(D)	38,166,054	26,610,422	

## (2) 正味財産増減計算書

自：2020年4月1日

至：2021年3月31日

(単位：円)

科目		
I 経常収益		
1.受取会費		
年会費	5,300,000	
入会金	65,000	
2.受取寄付金		
受取寄付金	25,199,469	
3.年次大会収益		
参加費	117,000	
協賛金	220,000	
4.受託収益		
AAMT/Japio研究会受託収入	4,310,933	
5.その他収益		
受取利息	3,165	
雑収入	11	
経常収益 計		35,215,578
II 経常費用		
1.事業費		
業務委託費	1,899,280	
諸謝金	1,450,800	
通信費	46,228	
租税公課	10,000	
支払手数料	465,245	
事務委託費	965,313	
雑費	218,360	
事業費 計		5,055,226
2.管理費		
印刷費	8,002	
会議費	24,200	
通信費	71,791	
消耗品費	4,619	
HP管理費	569,800	
広告宣伝費	940,000	
諸会費	110,000	
租税公課	10,000	
支払手数料	66,314	
事務委託費	1,344,687	
イベント費	196,074	
ジャーナル制作費	124,443	
管理費 計		3,469,930
経常費用 計		8,525,156
当期経常増減額		26,690,422
II 経常外収益		
経常外収益 計		0
II 経常外費用		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		26,690,422
法人税、住民税及び事業税		80,000
当期正味財産増減額		26,610,422
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		26,610,422

## (3) 貸借対照表

2021年3月31日

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1.流動資産		
現金	98,589	
普通預金	24,557,120	
未収金	4,310,933	
前払費用	39,600	
前払会費	60,000	
流動資産合計		29,066,242
資産合計		29,066,242
II 負債の部		
1.流動負債		
未払金	2,287,555	
未払費用	41,360	
預り金	46,905	
未払法人税等	80,000	
流動負債合計		2,455,820
負債合計		2,455,820
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		0
当期正味財産増減額		26,610,422
正味財産合計		26,610,422
負債及び正味財産合計		29,066,242

## (4) 財産目録

2021年3月31日

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1.流動資産		
現金	98,589	
普通預金	24,557,120	
ジャパンネット銀行	(14,768,549)	
三菱UFJ(8866)	(8,417,557)	
三菱UFJ(長尾賞)	(775,347)	
ゆうちょ銀行(Japio)	(595,667)	
未収金		
Japio受託収入	4,310,933	
前払費用	39,600	
前払会費	60,000	
流動資産合計	<u>29,066,242</u>	
資産合計		<u>29,066,242</u>
II 負債の部		
1.流動負債		
未払金	2,287,555	
Japio研究会業務委託費	(1,899,280)	
Japio研究会謝金、支払手数料	(388,275)	
未払費用	41,360	
預り金	46,905	
未払法人税等	80,000	
流動負債合計	<u>2,455,820</u>	
負債合計		<u>2,455,820</u>
正味財産		<u><u>26,610,422</u></u>

参考資料 1

2020 年度決算報告 説明資料

自：2020 年 4 月 1 日

至：2021 年 3 月 31 日

(単位：円)

科目	決算額	内訳		備考
収入の部				
1. 入会金収入	65,000	個人会員入会金	5,000	個人会員:5名 (1000*5=5,000)
		法人会員入会金	60,000	法人会員:6社 (10000*6=60,000)
2. 会費収入	5,300,000	個人会費	440,000	個人会員:88名分 (5000*88=440,000)
		学生会費	10,000	学生会員:10名分 (1000*10=10,000)
		法人会費	4,850,000	法人会員:59 法人 97 口分 (50000*97 口=4,850,000)
3. イベント収入	117,000	MT フェア参加費 会員	0	
		MT フェア参加費 非会員	0	
		MT フェア展示参加費 会員	0	
		MT フェア展示参加費 非会員	0	
		MT フェア懇親会費	0	
		AAMT2020 参加費 会員	0	AAMT2020 online
		AAMT2020 参加費 非会員	117,000	非会員参加費
		AAMT2020 展示参加費 会員	0	
		AAMT2020 展示参加費 非会員	0	
		AAMT2020 懇親会費	0	
4. 協賛金収入	220,000		200,000	AAMT2020 online 協賛金
5. 受託収入	4,310,933	Japio 研究会	4,310,933	(財)日本特許情報機構
6. 雑収入	3,176		3,176	受取利息等
7. 受取寄付金	25,199,469		300,000	長尾賞
			24,899,469	任意団体より継承
当期収入合計(A)	35,215,578			
前期繰越収支差額	0			
収入合計(B)	35,215,578			



支出の部					
1. 会議活動費	24,200	総会・理事会・監事会	会場・会議室	24,200	総会会場費キャンセル料 (TKP 東京駅セントラルカンファレンスセンター)
			印刷費	0	
			会議費	0	
		本部活動費	会議費	0	
			出張費	0	
2. 広報費	899,800	ホームページ	HP 制作費	52,800	改修費用
			HP 管理費	517,000	サーバー、HP 管理費等
		広報	ノベルティ作成費	0	
			広告宣伝費	330,000	団体紹介動画作成
		資料	印刷費	0	
3. 事務局管理費	1,495,413	事務局経費	通信費	71,791	サイト利用料、郵便等
			消耗品費	4,619	事務局用品等
			支払手数料	66,314	振込手数料、業務委託料
			印刷費	8,002	資料、宛名ラベル等印刷代
		事務局運営費	事務委託費	1,344,687	公益総研 費用配賦分
		雑費		0	
4. 他団体交流費	720,000	日本翻訳連盟	年会費	60,000	JTF 会費
			イベント旅費	0	
			スポンサー費	110,000	翻訳祭スポンサー
		言語処理学会	年会費	50,000	賛助会員1口
			イベント旅費	0	
			スポンサー費	0	
		Workshop on Asian Translation	補助金	500,000	翻訳評価費用補助

5. イベント費	226,143	長尾賞	記念品	218,360	製作費、デザイン代
			支払手数料	7,783	振込手数料等
	196,074	AAMT 年次大会	会場・会議室	0	
			機器レンタル	0	
			記録集謝金	0	
			講師謝礼	146,822	講師謝礼
			印刷費	0	
			懇親会費	0	
			雑費	49,252	PEATIX 手数料、広告料
6. 編集委員会費	124,443	AAMT ジャーナル	制作費	124,443	印刷代、デザイン代
7. 研究会費	4,829,083	AAMT/Japio	受託事業費	3,863,770	(財)日本特許情報機構受託事業経費、原稿料等
			事務委託費	965,313	公益総研 費用配賦分
8. 租税公課	10,000		租税公課	10,000	収入印紙代
当期支出合計(C)	8,525,156				
当期収支差額(A)-(C)	26,690,422				
法人税住民税及び事業税(D)	80,000				
次期繰越収支差額(B)-(C)-(D)	26,610,422				

# 監査報告書

私たちは一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会の 2020 年度の収支計算書および正味財産増減計書、2021 年 3 月末現在の貸借対照表および財産目録について監査を行いました結果、本協会の 2020 年度の決算諸表が適法かつ公平に表示されているものと認めます。

2021 年 5 月 18 日

一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会

監事

淡口宗武 

監事

古谷祐一 

### 第3号議案

#### 理事人事(案)

以下の方々を新たに2021年度の一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会理事として提案いたします。

#### ・理事

石岡 映子	(株式会社アスカコーポレーション)
岩下 雅寛	(凸版印刷株式会社)
菅谷 史昭	(マインドワード株式会社)
須藤 克仁	(奈良先端大学)
中澤 敏明	(東京大学)
山田 優	(立教大学)

### 第4号議案

#### 2021年度 一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会 事業計画 (案)

2021年4月1日

一般社団法人アジア太平洋機械翻訳協会  
会長 隅田 英一郎

理事の担務を表1にまとめる。

MTの普及のため不可欠なガイドラインの策定のためにMTガイドライン委員会を新設した。

法人化後の組織のさらなる強化のため法人強化の担務も新設した。

このほか、イベントと広報が多忙であることから増員した。

表1 理事における理事の担務

担務名	担務内容	担当理事 (敬称略)
事務局長	事務局統括と総会司会	石川
財務	会計管理	田中、永田
広報	広報委員会	石川 (委員長)、岩下 (予定)
出版	編集委員会	内山 (委員長)、後藤

イベント	イベント委員会（年次大会他）	森口（委員長）、長瀬、園尾、山畑 石岡（予定）、中澤（予定）、 須藤（予定）、菅谷（予定）
長尾賞	長尾賞・学生賞委員会	二宮（委員長）、黒橋、永田、田中
AAMT/Japio	AAMT/Japio 特許翻訳研究会	安達、須藤
国際化	MT サミット主催と国際化	黒橋
MT ガイドライン	普及のためのガイドライン 作成	山田（委員長、予定）
法人強化	将来を見据えた強化策立案	安達、小林

## 1 新体制での新たな取り組み

MTに関する情報、特に、その利用方法について、ガイドラインの作成公開をはじめとする活動を強化していく。

コロナ禍の中での発展を維持するためにWEB やリモートの利活用をさらに進める。

また、設立 30 周年である本年を好機と捉え、AAMT の露出を上げていく。

会員数増のペースを落とさぬように努め、特に、従来の会員とは異なるセグメントへの勧誘に注力する。

## 2 年次大会委員会

当委員会は、今年度も主にアジア太平洋地区において機械翻訳の技術開発、利用促進のために必要な情報の収集および発信の場として、イベントを企画運営する。具体的には、下期（2020 年度は 12 月/AAMT 2020, Online）に開催している年次大会をその場として位置づけ、業界が潜在的に抱えている課題の共有や情報不足を解消する一助になることを目的とする。年次大会は AAMT の国際化推進を下支えできるような中核のイベントにすべく、発展的、段階的に拡大してゆくことを計画している。また、本年から、年次大会実行委員の体制を強化し、イベント内容の拡充を図る。

2021 年度の活動計画は下記のとおりである。

### AAMT 2021, Online の開催

今年度も、オンラインで年次大会を開催し、AAMT の活動を協会内外に発信する。オンラインイベントの強みを活かし、より多くの業界関係者に参加いただけるように準備をする。

このイベントでは機械翻訳の活用事例、業界トレンド、技術革新、その他 MT に関連する技術領域を対象に、最新の情報をタイムリーに発信する場として位置付ける。会員のみならず非会員の参加者を促すことで、当協会の露出を増やし、会員増につなげることで、業界団体としての発展につなげたい。

### 3 AAMT/Japio 特許翻訳研究会

知財のグローバルな流通が加速するにつれ、特許業務の多言語化が進展し、その翻訳の需要も急速に高まっている。このような状況の中で、本研究会は、特許情報のデータベース化とその翻訳の機械化に先進的な役割を果たしている一般財団法人日本特許情報機構(Japio)からの委託をうけ、特許の機械翻訳の技術的な課題を把握し、次世代の特許翻訳のビジョンを明確にすることを目標に引き続き活動を行う。

本研究会は、特許翻訳における主要な技術課題、すなわち、(1)機械翻訳における専門用語の翻訳、(2)翻訳システムの評価手法、(3)特許文特有表現の翻訳、(4)その他特許翻訳に応用可能な種々の機械翻訳関連技術、などをテーマに年5~6回の会議を開催し、研究の成果を報告書として公開する。また、昨年度に開始した特許機械翻訳に関する技術動向についてのサーベイ論文についての活動を継続し、学会論文誌への投稿を計画している。

さらに、特許や科学技術文献の翻訳を対象とするワークショップ(PSLT)については、今年度8月中旬の機械翻訳サミットの併設ワークショップとして開催することが決定している。開催形態がオンラインになったため、規模を若干縮小してのプログラム編成とする計画である。

### 4 AAMT ジャーナル編集委員会

年2号の発行号数を目標としてAAMT ジャーナル「機械翻訳」の記事を企画・編集し、電子ジャーナルとして発行する。

ジャーナル記事の著作権としては Creative Commons Attribution ShareAlike 4.0 を基本とすることにより、投稿された記事が自由に流通することにより、著者とAAMTの利益が最大化することを目指す。また、「法人会員PR」として、機械翻訳に関して、法人会員からPR記事を受け付ける。

### 5 広報委員会

#### 1) ウェブサイト

機械翻訳にかかわる翻訳者や翻訳を発注する法人を呼び込むため、機械翻訳に関する求人サイトを作成する。また、機械翻訳や関連するイベントを参照できるようにイベントカレンダーを作成し、機械翻訳に関する情報を一元化できるように進めていく。

#### 2) SNS

Twitter、Facebookでの発信を続け、イベントや協会の紹介をこまめに行う。

### 3) その他広報活動

30周年の記念の年となるよう、開催するイベントを記念イベントと位置づけ、30周年であることをアピールしていく。またイベントに関しては、上記 SNS 発信と共にプレスリリース等を活用した広報活動を合わせて行い、AAMT の活動及び、機械翻訳技術の進歩を広く認知していただく事を目標とする。

## 6 長尾賞委員会

2021 年度は、2020 年度までと同様に、AAMT 長尾賞、AAMT 長尾賞学生奨励賞の宣伝、募集、選考の活動を行う。また、それらの活動に加えて、AAMT 長尾賞、AAMT 長尾賞学生奨励賞の存在を広めるために、より効果的な宣伝の方法について検討を行う。

## 7 国際化対応

AAMT を真の Asia-Pacific の組織として国際化していく方策の 1 つとして、2014 年以降、日本の研究者が中心となって継続的に開催しているアジア翻訳ワークショップ

(Workshop on Asian Translation; WAT) を AAMT の国際会議の母体とする検討を継続している。このために、WAT2018,2019,2020 に引き続き、ACL-IJCNLP 2021 (バンコク 2021 年 8 月) の併設ワークショップとして開催される WAT2021 をスポンサーとして支援する。

また、IAMT (International Association of Machine Translation) の 2 年に 1 度の国際会議、MT Summit 2023 を AAMT がお世話をしてアジアで開催することから、コロナ禍の関係で開催方法を含めて不透明ではあるが、アジアの関係機関との相談・調整を至急行ってローカル・オーガナイザを決定し、準備を開始する。

第5号議案

2021年度予算(案)

自:2021年4月1日

至:2022年3月31日

単位(円)

科目	予算額	概要
収益の部		
1 入会金収入	55,000	新規入会 法人4口、個人5名を想定
2 年会費収入	5,205,000	法人95口、個人95名を想定
3 イベント収入	480,000	総会、AAMT2021参加費
4 協賛金収入	500,000	5社を想定
5 受託収入	7,200,000	AAMT/Japio研究会
6 雑収入	0	
当期収益合計 (A)	13,440,000	
前期繰越正味財産額	26,610,422	
収益合計 (B)	40,050,422	
費用の部		
1 会議活動費	122,000	総会・理事会(Zoom)、福利厚生費等
2 広報費	1,400,000	AAMTホームページ管理費、印刷費、広報費
3 事務局管理費	2,750,000	事務委託費、事務局経費等
4 他団体交流費	910,000	JTFおよび言語処理学会の会費、スポンサー費、WAT補助金
5 イベント費	975,000	長尾賞、講演会、AAMT2021開催経費
6 編集委員会費	100,000	ジャーナル制作費
7 租税公課	10,000	収入印紙
8 研究会費	6,800,000	AAMT/Japio研究会
9 新規事業費	1,083,000	WEBサイト、30周年記念事業関連
10 予備費	1,000,000	
当期費用合計 (C)	15,150,000	
当期正味財産増減額 (A) - (C)	-1,710,000	
法人税住民税及び事業税 (D)	80,000	法人住民税均等割
次期繰越正味財産額 (B) - (C) - (D)	24,820,422	



## 御参考資料 2

## 2021 年度予算案 収益の部 詳細

自：2021 年 4 月 1 日

至：2022 年 3 月 31 日

(単位：円)

科目	予算額	内訳				備考
			人(口)数	単価		
1 入会金収入	55,000	法人会員	5	10,000	50,000	
		個人会員	5	1,000	5,000	
2 年会費収入	5,205,000	法人会員	95	50,000	4,750,000	
		個人会員	90	5,000	450,000	
		学生会員	5	1,000	5,000	
3 イベント収入	480,000	総会講演会 会員	50	0	0	
		総会講演会 非会員	30	1,000	30,000	
		AAMT2021, Tokyo 参加費 会員	100	2,000	200,000	
		AAMT2021, Tokyo 参加費 非会員	50	5,000	250,000	
4 協賛金収入	500,000	AAMT2021, Tokyo 協賛金	5	100,000	500,000	5社
5 受託収入	7,200,000	AAMT/Japio 研究会	1	7,200,000	7,200,000	
6 雑収入	0			-	-	受取利息
経常収益合計 (A)	13,440,000					

## 御参考資料 3

## 2021 年度予算案 費用の部

自：2021 年 4 月 1 日

至：2022 年 3 月 31 日

(単位：円)

科目	予算額	内訳		備考	
1 会議活動費	122,000	総会・理事会・ 監事会	会場・会議室	22,000	遠隔会議開催費
			福利厚生費	100,000	
2 広報費	1,400,000	ウェブサイト	HP 作成費	500,000	ホームページ作成、保守
			HP 管理費	600,000	レンタルサーバー等管理費
		資料	印刷費	100,000	チラシ等
		広告	広告費	200,000	SNS 広告、関連冊子広告
3 事務局管理 費	2,750,000	事務経費	通信費	100,000	サイト利用料、郵便、メール配 信、ZOOM、OneDrive 等
			消耗品費	10,000	事務局用品等
			支払手数料	260,000	税務申告、役員登記、振込手数料 等
			印刷費	10,000	資料等印刷費
		事務局運営費	備品費	10,000	会議用マイク等
			事務委託費	2,310,000	公益総研(株)事務委託費用
雑費	50,000				
4 他団体交流 費	910,000	日本翻訳連盟	年会費	60,000	J T F 年会費
			スポンサー費	150,000	翻訳祭スポンサー
		言語処理学会	年会費	50,000	賛助会員費 1 口
			スポンサー費	150,000	年次大会スポンサー
		Workshop on Asian Translation	補助金	500,000	翻訳評価費用補助
5 イベント費	975,000	長尾賞	記念品	250,000	
			支払手数料	5,000	
		総会講演会	講師謝礼	20,000	
			雑費	200,000	
		AAMT2021, Tokyo	遠隔会議開催費	100,000	Zoom
			講師謝礼	200,000	10 名
			雑費	200,000	広告宣伝費含む
6 編集委員会 費	100,000	AAMT ジャーナ ル	制作費	100,000	
7 租税公課	10,000			10,000	役員登記

8 法人税	80,000	法人住民税均等割		80,000	次期繰越正味財産額の上に表示
9 受託事業費	6,800,000	AAMT/Japio	研究会経費	6,800,000	
			AAMT 負担経費		
10 新規事業費	1,083,000	jtf-web ジャーナル広告		165,000	
		PE ガイドライン作成		500,000	
		web サイト求人ページ作成		288,000	
		30周年記念事業：プレスリリース		30,000	
		30周年記念事業：ロゴ、イメージ作成		100,000	
11 予備費	1,000,000			1,000,000	30周年記念事業対応
総額	15,230,000				